



株式会社 弘新建設

令和5年度環境経営レポート
(対象期間: 令和5年4月～令和6年3月)



作成日: 令和6年10月

I 環境経営方針

[環境理念]

株式会社 弘新建設は、地元弘前を発祥とし、地域のインフラ整備、発展の為に尽力して参りました。この豊かな自然を後世に伝えていく為に環境問題への対応が喫緊の課題であるという認識を持ち、社会インフラとしての土木工作物、生活を豊かにする建築物の提供を通じ、社会に貢献することを目指しています。建設業に係る事業活動においては、社員が次世代に技術・技能を引き継げるように、職場・工事現場の環境整備に努めます。生物多様性の考慮、環境関連法規の遵守により環境負荷の低減を図りつつ、環境保護活動の継続的改善に努めます。

SDGsに則り「環境保護と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現に全社一丸となって自主的、積極的に取り組む事を誓約します。

[環境への行動方針]

- 1.低炭素社会実現の為に、二酸化炭素排出削減に取り組みます
- 2.建設副産物のリサイクルを推進し、廃棄物削減に取り組みます
- 3.水使用量と排水量の適正な管理に取り組みます
- 4.化学物質の適正な管理と処理に取り組みます
- 5.現場においては資材、事務所においては備品等のグリーン購入に取り組みます
- 6.現場において環境に配慮した工法の早期確立と重機類の省エネ運転に取り組みます
- 7.環境関連法規、その他の要求事項の遵守に取り組みます
- 8.環境経営マネジメントシステムを構築し、継続的かつ持続的な環境保全活動に取り組みます

作成日：平成28年10月 1日
更新日：令和 3年11月 1日

株式会社 弘新建設
代表取締役 工藤 武

弘新建設のSDGsの取り組み

温暖化対策 CO₂削減に努めよう

ごみの分別、資源ゴミのリサイクル
 裏紙の再利用、FAXよりもメールの利用
 洗剤の詰め替え商品利用
 食品ロスをなくす、飲料は飲み切る
 飲料はマイボトル持参
 暖房、冷房は適正な温度を保つ
 ペアガラス、LED照明
 エコドライブを心がける



節水 資源を守ろう

手洗い時の節水徹底
 洗濯はまとめて行う
 節水型トイレの利用
 散水車への給水は適正に



いつまでも健康に 幸せに

塩分控えめ、適度な運動
 禁煙に補助金を支給
 各種ワクチン接種の会社負担
 男性の育児休暇取得実績
 就業規則内でパパ育休・介護休暇取得の制度完備



より豊かな生活へ

定期的な安全・教育活動
 資格取得の会社全額負担
 エコアクション21活動



環境保全

災害時の避難経路の確認
 消火・油漏れ災害の対応
 自治体と防災協定の締結
 水辺サポート、近隣清掃、地域奉仕活動



II 組織の概要

1.名称及び代表者名

株式会社 弘新建設 代表取締役 工藤 武

2.所在地

本 社 青森県弘前市大字神田1丁目4番地1

3.環境管理責任者及び事務局連絡先

環境管理責任者	専務取締役:相馬 正樹	TEL	0172-37-3329
環境事務局	総務 課長:田代 慎一	TEL	0172-37-3329

4.事業活動の内容

特定建設業の許可
許可番号 青森県知事 (特-6)第 11118号
建設業の種類 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、塗装工事業、造園工事業、水道施設工事業
解体工事業

5.事業の規模

工事等の件数	480件
資本金	2,000万円
売上高	16億21百万円(令和5年度)
職員数	47人
事業所の床面積	456.84㎡
資機材置場敷地面積	2,833.36㎡

一級建築士:1名	二級建築士:1名
1級土木施工管理技士:12名	2級土木施工管理技士:9名
1級建築施工管理技士:6名	2級建築施工管理技士:1名
1級造園施工管理技士:1名	2級造園施工管理技士:1名
1級建設機械施工技士:1名	2級建設機械施工技士:9名
1級建設業経理士:1名	2級建設業経理士:1名

6.対象範囲(認証・登録範囲)

株式会社 弘新建設のすべての事業活動及び組織を対象範囲とします。

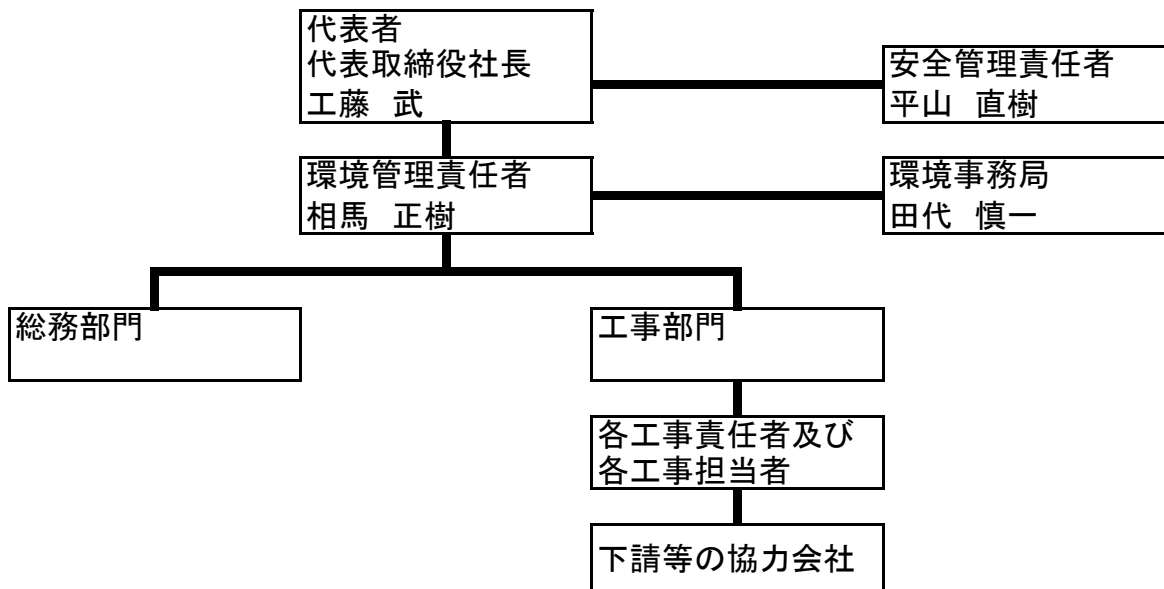
7.事業年度

4/1~3/31を1事業年度とします。

8.環境活動レポートの対象期間(発行日)

令和5年4月1日~令和6年3月31日(発行日:令和6年10月31日)

<組織図>



<役割分担表>

担当	各自の責任と役割
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任、経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの実施に必要な人材・設備・費用・時間・技能・技術者の準備 ・実施体制の構築(環境管理責任者の任命) ・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・全体評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・実施・維持管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画原案の作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成及び公開 ・緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施、記録の作成
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
各工事責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の適正管理 ・現場における緊急事態への対応のための訓練の実施、記録の作成 ・現場における従業員及び下請等の協力会社への環境方針の周知
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

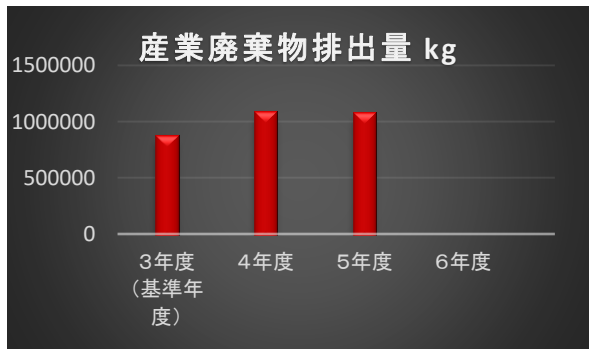
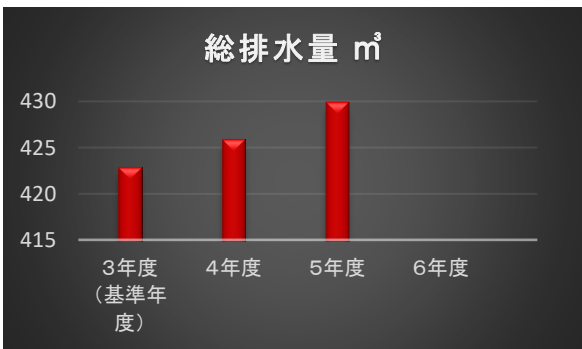
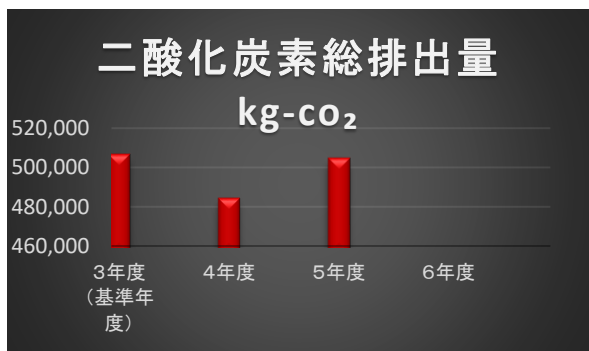
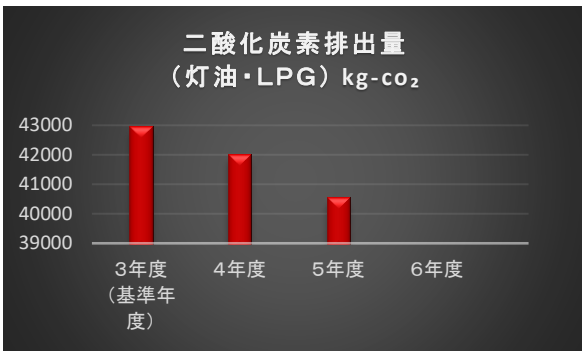
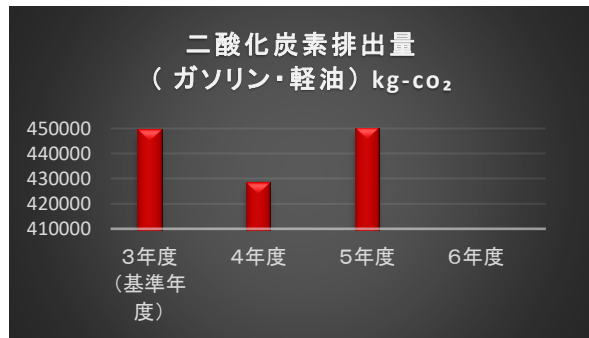
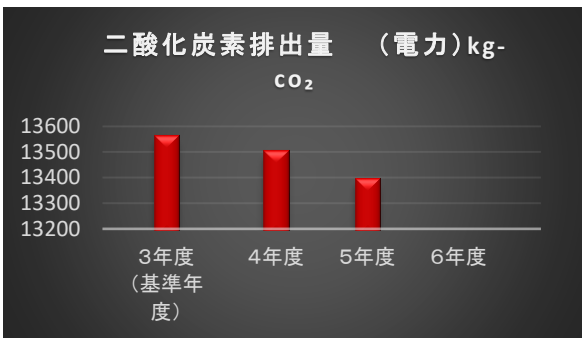
Ⅲ 環境経営目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

表1.主な環境負荷の実績(事務所及び建設現場)

項目	単位	3年度 (基準年度)	4年度	5年度	6年度
二酸化炭素排出量	電力	kg-CO ₂	13,535	13,476	13,367
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	446,620	425,632	447,271
	灯油・LPG	kg-CO ₂	42,706	41,761	40,297
	総排出量	kg-CO ₂	502,861	480,869	500,935
一般廃棄物排出量	kg	1,178	1,225	1,248	
産業廃棄物排出量	kg	808,329	1,018,211	1,011,000	
総排水量	m	422	425	429	
化学物質使用量	kg	0.66	0.47	0.47	
グリーン購入量	万円	-	-	-	-

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.521kg-CO₂/KWhです。(5年提出用)東北電力R1年度実績の調整後排出係数を用いています。
表中の「-」は数量として把握できていません。



2 環境経営目標の設定

当社では令和3年度実績値を基準として中長期及び単年度の環境経営目標を表2の通り設定し、環境負荷の削減等に取り組んでおります。

表2.環境経営目標(事務所及び建設現場)
基準値に対する削減(増加)率(%)を示す

項目	令和3年度 基準値	単位	単年度目標			中長期目標
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~6年度
二酸化炭素排出量	502,861	kg-CO ₂	0.5%削減	1%削減	1.5%削減	1.5%削減
一般廃棄物排出量	1,178	kg/年	0.5%削減	1%削減	1.5%削減	1.5%削減
再資源化率	100.0	%	100	100	100	100
総排水量	422	m ³	0.5%削減	1%削減	1.5%削減	1.5%削減
化学物質使用量			化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			
グリーン購入量			環境に配慮した製品を優先的に購入する			
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目			環境に配慮した施工・工法を推進する			
地域貢献活動			建設現場等での地域貢献活動へ積極的に参加する			

3 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。

表3.1環境経営目標の実績(事務所及び建設現場)

項目	単位	基準値: 令和3年度	当該(令和5年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化 炭素排 出量	電力	kg-CO ₂	13,535	1.0%削減	13,400	13,367	○
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	446,620	1.0%削減	442,154	447,271	×
	灯油・LPG	kg-CO ₂	42,706	1.0%削減	42,279	40,297	○
	合計	kg-CO ₂	502,861	1.0%削減	497,832	500,935	×
一般廃棄物排出量	kg	1,178	1.0%削減	1,166	1,248	×	
再資源化率	%	100	100	100	100	○	
総排水量	m ³	422	1.0%削減	418	429	×	
化学物質使用量	kg	0.66	化学物質を適正に管理し、定期的に確認する			0.65	-
グリーン購入量	万円	4	環境に配慮した製品を優先的に購入する			5	-
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法を推進する			0	-
地域貢献活動	件	2	建設現場等での地域貢献活動へ積極的に参加する			4	-

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.521kg-CO₂/KWhです。

表3.1.1環境経営目標の実績(事務所)

項目	単位	基準値: 令和3年度	当該(令和5年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化 炭素排 出量	電力	kg-CO ₂	13,535	1.0%削減	13,400	13,367	○
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	-	-	-	-	-
	灯油・LPG	kg-CO ₂	19,236	1.0%削減	19,044	18,004	○
	合計	kg-CO ₂	32,771	1.0%削減	32,443	31,371	○
一般廃棄物排出量	kg	1,178	1.0%削減	1,166	1,248	×	
再資源化率	%	-	-	-	-	-	
総排水量	m ³	422	1.0%削減	418	429	×	
化学物質使用量	kg	0	化学物質を適正に管理し、定期的 に確認する			0	-
グリーン購入量	万円	4	環境に配慮した製品を優先的 に購入する			5	○
自らが施工・販売・提供する製品及び サービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法 を推進する			0	-
地域貢献活動	件	2	建設現場等での地域貢献 活動へ積極的に参加する			4	○

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.521kg-CO₂/KWhです。

表3.1.2環境経営目標の実績(建設現場)

項目	単位	基準値: 令和3年度	当該(令和5年度)			環境目標 の達成状 況	
			削減(増 加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化 炭素排 出量	電力	kg-CO ₂	-	-	-	-	
	ガソリン・軽油	kg-CO ₂	446,620	1.0%削減	442,154	447,271	×
	灯油・LPG	kg-CO ₂	23,470	1.0%削減	23,235	22,293	○
	合計	kg-CO ₂	470,090	1.0%削減	465,389	469,564	×
一般廃棄物排出量	kg	-	建設現場で発生した一般廃棄物 は事務所で処理しています			-	
再資源化率	%	100	100	100	100	○	
総排水量	m ³	-	-	-	0	-	
化学物質使用量	kg	0.66	化学物質を適正に管理し、定期的 に確認する			0.65	○
グリーン購入量	万円	-	環境に配慮した製品を優先的 に購入する			-	-
自らが施工・販売・提供する製品及び サービスに関する項目	件	0	環境に配慮した施工・工法 を推進する			0	-
地域貢献活動	件	0	建設現場等での地域貢献 活動へ積極的に参加する			0	-

二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.521kg-CO₂/KWhです。

IV 環境経営計画、取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

1.環境経営計画、取り組み結果とその評価

環境経営計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容(達成手段)を表4の通り作成した。
 なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4 主な環境経営計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果・次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①空調機器の適温化(冷房28℃程度)を徹底している	○	消灯の取組は定着している。日頃の節電についてもさらに意識の向上を図っていく。次年度以降も引き続き継続していく。
	建設機械・車両用等の二酸化炭素削減	①車両に運転日報を備えて、毎日の点検をしている。	○	新規入場者教育やミーティング時に周知徹底することで徐々に意識は高まってきているが、今後も掲示物や教育・訓練等により継続的な意識の高揚に取り組んでいく。
		②建設機械等は極端な負荷のかからない運転を心がけている	○	
		③運搬車両等は、過積載が行われないよう徹底している	○	
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①暖房温度(暖房20℃程度)の設定を管理している	△	急激な温度変化に対応できない時は暖房温度が高めに設定されることがあった。今後は気温予報等から社員に早めにアナウンスして対応をとるように心がける。
		②冬期間の重ね着等服装の工夫をして暖房の使用を抑える	○	
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①両面印刷、両面コピーを心がけてごみの発生を抑制する	○	紙のリサイクルもかなり達成できてきた。さらなる意識の向上を目指す。
		②印刷時の確認を心がけ、ミスプリントを減らす	○	
		③過去の図面や設計書等は、裏紙として支障の無い範囲で再利用を心がける	○	
	リサイクルの促進	①シュレッダーの使用を文書の機密部分に限定している	○	ごみは正しく分別回収できている。これからも継続して徹底を図っていく。
産業廃棄物の適正処理	①廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	○	適正な処分が出来ており、混合廃棄物は無かった。引き続き再資源化に取り組んでいく。	
総排水量削減	①手洗い時、洗い物においては日常的に節水を心がけている	○	各自節水への心がけはできている。今後も継続して取り組んでいく。	
	②建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行う	○		
	③水道管からの漏水がないか定期的に点検・確認している	○		
化学物質の管理	①建設現場における化学物質は必要最小限の使用とし、保管は原則行わないようにしている	○	建築工事の一部で化学物質を利用する現場があった。今後利用する現場においても管理は徹底していく。	
	②有毒性の化学物質の流出や拡散の防止対策を徹底している	○		
グリーン購入	①エコマーク表示の事務用品の購入	○	コピー用紙、トイレトペーパー等エコ製品の購入が見られた。今後も種類を増やし優先的に購入していく。	
	②再生材から作られた製品等を優先的に購入し、使用している	○		
環境に配慮した製品、サービス等	①建設現場における再生材の積極的利用	○	再生砕石、再生アスファルト合材等を積極的に購入しており、次年度以降も継続していく。	
・環境コミュニケーション ・地域貢献活動他	①事務所、現場周辺の清掃活動	○	河川等の清掃活動の機会を増やし、継続していく。	
	②地域のボランティア活動に積極的に参加し、協力や支援を行っている	○	水辺サポートや地域の清掃活動等ボランティア活動を積極的に実施した。今後も引き続き活動を継続していく。	

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される建設リサイクル法等環境関連法規の遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について問題はありません。

環境関連法規制一覧(環境関連法規制等の取りまとめ及び遵守状況チェック表より抜粋)

法規制等の名称	当社で該当する設備及び項目	遵守状況
建設リサイクル法	対象建設工事の届出 (コンクリート、アスファルト・コンクリート・木材)	○
廃棄物処理法	収集運搬許可、マニフェスト交付、管理票交付状況報告書の提出	○
消防法	少量危険物設置届出と定期点検	○
フロン排出抑制法	対象機器の定期点検	○
水質汚濁法	貯油施設の定期点検	○

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

意識はだいぶ向上してきたが、工事現場の規模、件数の増加によりガソリン・軽油、一般廃棄物、水道水の項目で目標値に達しなかった。ガソリン・軽油は工事件数の増加や社員の増加によるものである。一般廃棄物もシュレッダーくず等が増えた印象がある。必要最低限のシュレッダー処理を心がけ、削減していく。水道水は舗装現場で使用する散水車への給水が増加した。目標値には達しなかったが、前年度、前々年度からは確実に削減できている項目もある。経済活動と環境保護の両立は難しいが、その中でもエネルギー関連の消費量の削減を目指していきたい。今後も現場の状況には左右されると思うが、引き続き指導を行っていく。3回目の中期目標を設定し2年目を迎えたがまだ、取り組みが不足しているところをしっかりと認識し、時間がかかってもPDCAサイクルに基づいて改善を促していく。

2.環境活動の状況



ボランティア清掃



水辺サポーター



環境に配慮したコピー用紙の利用



教育状況



節電アクション



節水アクション